情報理工学部 SN コース 2 回 セキュリティ・ネットワーク学実験 2 NW 実験 2-4 レポート

2600200443-6 Yamashita Kyohei 山下 恭平

November 23 2021

1 概要

自宅のネットワーク環境, および学内ネットワーク環境において, 指定された場所へのネットワーク経路を 調べる。

2 結果と考察

2.1 自宅のネットワーク

kyoheiyamashita@Kyohei-Yamashita-MacBook-Pro ~ % traceroute -1 31.284.145.174 traceroute to 31.284.145.174 (31.284.145.174), 64 hops max, 72 byte packets 1 buffalo.setup (192.168.11.1) 8.245 ms 1.148 ms 1.825 ms 2 61.195.119.146 (61.195.119.146) 2.535 ms 2.567 ms 2.264 ms 3 61.195.119.145 (61.195.119.145) 3.011 ms 3.72 ms 2.2964 ms 4 61.285.118.97 (61.285.118.97) 7.642 ms 4.865 ms 4.215 ms 5 219.122.245.1 (21).122.245.1 (3.772 ms 4.7975 ms 4.353 ms 6 68.55.5.138 (08.55.5.138) 11.412 ms 12.343 ms 12.887 ms 7 218.180.6.121 (121.180.6.121) 11.464 ms 12.574 ms 12.349 ms 8 tyo.uptrends.net (31.294.145.174) 12.294 ms _11.837 ms 12.019 ms

図1 東京

kyoheiyamashita@Kyohei-Yamashita-MacBook-Pro - % traceroute - I 72.9.99.138 traceroute to 72.9.99.138 (72.9.99.138), 64 hops max, 72 byte packets 1 buffalo.setup (192.168.11.1) 7.976 ms 1.011 ms 1.092 ms 2 61.195.119.146 (61.195.119.140) 2.665 ms 2.596 ms 4.926 ms 3 61.195.119.146 (61.195.119.145) 3.478 ms 3.114 ms 3.019 ms 4 61.208.118.97 (61.208.118.97) 4.589 ms 3.013 ms 15.726 ms 5 219.122.245.1 (219.122.245.1) 5.108 ms 6.749 ms 4.563 ms 6 219.122.245.34 (219.122.245.34) 4.046 ms 4.749 ms 4.174 ms 7 ae-13.a00.cosk/p02.jp.bb.gin.ntt.net (61.208.02.29) 5.070 ms 5.611 ms 6.4 57 ms 9-13.a00.cosk/p02.jp.bb.gin.ntt.net (129.250.3.211) 5.200 ms 6.016 ms 6.2 as 9-127.05ak/p02.jp.bb.gin.ntt.net (129.250.3.211) 5.200 ms 6.016 ms 6.2 as 9-127.05ak/p02.jp.bb.gin.ntt.net (129.250.3.211) 5.200 ms 6.016 ms 6.2 as 9-126.1sanca07.us.bb.gin.ntt.net (129.250.3.17) 124.497 ms 124.523 ms 135.015 ms 13 ae-1-700.1sanca07.us.bb.gin.ntt.net (129.250.3.17) 124.499 ms 125.039 ms 113.016 ms 12 ac-1-0-0-0.700.1sanca07.us.co.gin.ntt.net (157.238.179.90) 112.639 ms 113.881 ms 113.016 ms 13.3016 ms 13

図3 アメリカ東海岸

| kyoheiyamashita@Kyohei-Yamashita-MacBook-Pro ~ % traceroute -I 98.143.158.202 traceroute to 98.143.158.202 (98.143.158.202), 64 hops max, 72 byte packets 1 buffalo.setup (192.168.11.1) 8.747 ms 1.079 ms 1.025 ms 2 61.195.119.146 (61.195.119.146) 3.016 ms 2.265 ms 2.288 ms 2 61.195.119.146 (10.195.119.145) 2.773 ms 3.301 ms 3.063 ms 4 61.205.119.145 (61.205.118.105) 4.527 ms 3.301 ms 3.083 ms 5 219.122.245.5 (10.129.12.245.5) 6.665 ms 3.832 ms 4.597 ms 6 219.138.46.46 (210.138.46.45) 5.652 ms 5.177 ms 4.297 ms 7 0.5805 ms 10.138.146.146 (210.138.46.45) 5.652 ms 5.177 ms 4.297 ms 7 0.5805 ms 10.138.146.146 (210.138.46.45) 5.652 ms 5.177 ms 4.596 ms 10.138.146.146 (210.138.46.45) 5.652 ms 1.078 ms 4.596 ms 10.138.146.146 (210.138.46.45) 5.652 ms 14.971 ms 15.124 ms 10.148.146 (10.138.146.146) 11.146 (10.138.146.146) 11.146 ms 10.146 ms 11.146 ms

図2 アメリカ西海岸

図4 ブラジル

入力した結果は上の図に示した。

全ての結果に共通している部分は初めの3行であり、1行目は自宅のWi-Fi ルータである。2,3行目は調べたところプロバイダの会社によるルータであったので、自宅近くに存在するルータだと考えられる。また、5行目までのIP アドレスはどれも似ていることから、これらも契約プロバイドのルータであり、6行目以降から目的のサーバ、ルータに向かっていると考えられる。

アメリカ西海岸では 11 行目でアメリカのサーバにアクセスしていおり、そこから 4 つの中継で目的のサーバに到達しているが、東海岸では 8 行目でアメリカのサーバにアクセスしているのにもかかわらず到達まで 13 個の中継をしている、これは 8 行目ではまだ西海岸であり、そこから東海岸までアメリカ国内のサーバを中継しているからと考えられる。ブラジルでは日本からアメリカ西海岸、東海岸を経てブラジルのサーバへアクセ

スしていることが実行結果から読み取れる。実際には、日本、サンタクララ、サンノゼ、ニューヨーク、サンパウロそして、目的のサーバへと到達していることがわかる。

2.2 学内ネットワーク

全ての結果を以下に示した。

全てに共通している一行目の「172.31.191.253」は BKC 内にあるルータだと考えられる。情報理工学部実験 用サーバおよび BKC の DNS サーバは、同じく BKC 内に存在し、同一 LAN 上にあると考えられるの、2 行目の時点で目的のサーバに到着していることがわかる。

衣笠および立命館慶祥の DNS サーバは 2 回では到着していないことから、少なくとも BKC 内には存在しないと考えられる。しかし、中継している IP アドレスがかなり似ていることから、キャンパス同士のネットワークも接続されていることが考えられる。

3 地理的距離とネットワークの関係性について

地理的にホストが近くても、ネットワーク的には近いとは限らない理由として考えられるのは、目的のホストへ到達するためのルータやサーバが地理的に近くにあるとは限らないからである。例えば、大津市のホームページまでの経路を考えたとき、最終的にはもちろん大津市にあるサーバに到着するが、私の場合、プロバイダのサーバが大阪にあるので、必ず大阪を経由する。このように、地理的に近いホストであってもネットワーク的には近くないことが起こると考えられる。